

皆さんに美術(館)の魅力をもっと知ってほしい...

**美術館の学芸員という仕事を  
 存じますか？** 今月は、小杉  
 放菴記念日光美術館学芸員の清水さ  
 んにお話を伺いました。

**なぜ、学芸員に？**

幼い頃、祖父や父によく博物館  
 や美術館へ連れて行ってもらった  
 記憶があります。その影響から  
 か、仏像や古美術などに興味があ  
 り、小学6年生のときに「13歳の  
 ハローワーク」という本を読み、  
 学芸員か学校の先生になろうと思  
 いました。その後、大学と大学院  
 で日本近代美術史を研究し、「美  
 術の素晴らしさを伝えたい」と思  
 い学芸員になりました。

**なぜ日本近代美術史を？**

小杉放菴記念日光美術館  
 学芸員 **清水友美さん**

仏像などの東洋美  
 術史を研究しようとし  
 ていた大学3年生のと  
 き、たまたま裸婦の展  
 覧会を見て、考えが変  
 わりました。裸婦のよ  
 うにタブーとされた芸  
 術が紆余曲折を経て、  
 日本でどのように受け  
 入れられていったのか  
 興味が湧き、開国から  
 第2次世界大戦にかけ  
 て変わりゆく日本の美  
 術に魅かれ、日本近代

美術史の研究を志しました。

**なぜ、この美術館へ？**

実家が東武線沿いなので、日光  
 市には親近感がありました。ま  
 た、大学の恩師が小杉放菴の長男  
 である小杉一雄氏(美術史学者)の  
 教え子という縁もありました。

**日光市に住んだ感想は？**

とにかく水がおいしい！ 食べ  
 物もおいしいです。水羊羹や足尾  
 のあんこ玉などが好きです。

**学芸員の魅力は？**

魅力がありすぎて一言では語れ  
 ませんが、お客さまに新しい視点  
 を提供するため、作品の見せ方を  
 考えるのが楽しいです。同じ作品  
 を展示するとしても、違った視点  
 (印象)でテーマを考え、作品の順  
 番と間隔、さらに作品解説の位置  
 を変えることで全く新しい見せ方  
 になります。

また、教育普及として、子ども  
 たちに作品の説明もしますが、ど  
 うしたら作品の良さが伝わるか、  
 子どもたちに興味を持ってもらえ  
 るかなど、考えることも楽しいで  
 す。

**今、力を入れていること**

美術館に来たお客さまに、さら

**今後の抱負は？**

いい展示をして、ますます魅力  
 的な美術館にしていきたいです。  
 観光地にある美術館は珍しく、建  
 物も素晴らしいので、たくさん  
 人にとってこの美術館の魅力を知って  
 もらい、来てもらいたいですね。

**♡ インタビューを終えて**

「常に仕事のことを考えていま  
 す」と笑う清水さん。自分の性格  
 を「頑固」という清水さんです  
 が、妥協しない仕事ぶりは周りか  
 らも一目置かれています。

「人に絵の魅力を伝えることが  
 本当に楽しい」という言葉どお  
 り、インタビュ後に喜々として  
 作品の解説してくれた清水さん  
 でした。



作品の解説をする清水さん

に楽しいも  
 のを見た  
 り、聴いた  
 りするため、演  
 奏会やワー  
 クショップ  
 を開催する  
 など、「美